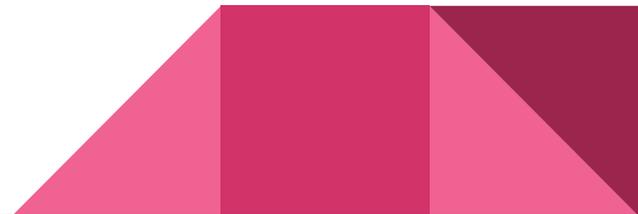


自治体の外国人住民への 情報提供に関する調査報告

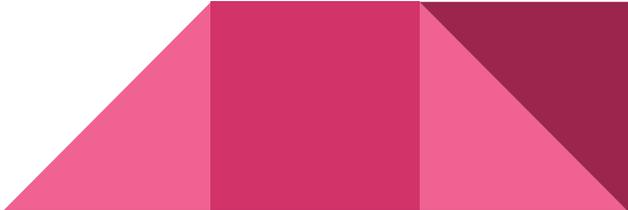
中野区長と留学生の懇談会
2022年6月29日

目次

1. 各自治体の取り組み
2. 自治体にみられる共通点
3. 中野区への提案
4. まとめ



各自治体の取り組み

1. 外国人住民数、国籍
 2. 自治体ホームページの翻訳語数
 3. 多言語による情報提供のガイドラインの有無
 4. やさしい日本語のガイドラインの有無
 5. 評価できる点
 6. 課題
- 

中野区

1. 外国人住民：16,868人、人口の5.1% (2022年6月1日時点)

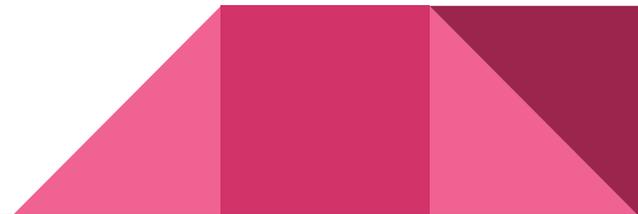
国籍：①中国 ②韓国 ③ネパール (2021年9月1日時点)

2. ホームページ：5言語に対応、機械翻訳を活用

(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語に対応)

3. 多言語化ガイドライン：なし

4. やさしい日本語ガイドライン：なし



中野区の取り組み

5. 評価できる点

- ・ 区役所窓口、小中学校等に**13言語対応**のタブレット端末を導入
- ・ 「外国人のためのなかの生活ガイドブック」で生活情報を提供
(やさしい日本語、英語、中国語、韓国語に対応)

6. ホームページの課題

- ・ 翻訳ページの地名に誤記あり
- ・ 5言語の機械翻訳はあるが、やさしい日本語版がない
- ・ 翻訳後もホームページ内の画像は日本語のままである

新宿区

1. 外国人住民数：33,907人(23区内第二位)、人口の9.8%(2022年1月1日時点)

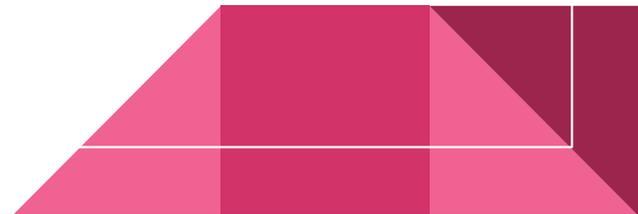
国籍：①中国 ②韓国 ③ネパール(2021年6月時点)

2. ホームページ：108言語に対応、機械翻訳を活用

(2022年1月25日に14言語から拡充)

3. 多言語化ガイドライン：「外国人への情報提供ガイドライン」(2010年)

4. やさしい日本語ガイドライン：なし

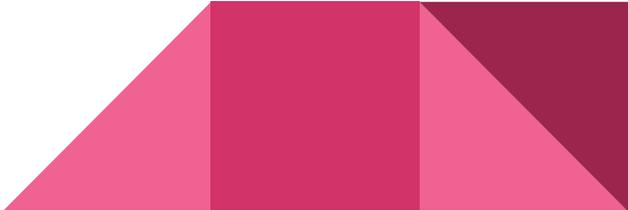


新宿区の取り組み

5. 評価できる点

- ・ 閲覧者のスマホやパソコンの言語設定に合わせて、自動的に翻訳ページを閲覧できる
- ・ 機械翻訳でない英中韓の「外国人向け生活情報ホームページ」に情報が集約されている
- ・ 多言語による「新宿生活スタートブック」が発行されている
(英語、中国語、韓国語、ネパール語、ベトナム語、ミャンマー語版)

6. 課題

- ・ やさしい日本語が使用されていない
- 

港区

1. 外国人住民数：16,929人、人口の6.6% (2022年1月1日時点)

国籍：①中国 ②韓国 ③アメリカ (2021年6月時点)

2. ホームページ：108言語に対応、機械翻訳を活用

(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語が中心)

3. 多言語ガイドライン：「港区行政情報多言語化ガイドライン」(2010年、以後改訂、最新版2021年、やさしい日本語を含む)

4. やさしい日本語ガイドライン：「実践！やさしい日本語による公文書」(2017年)、
「『やさしい日本語』マニュアル～外国人の地域参画と協働のために～」



港区の取り組み

5. 評価できる点

- ・手提げバッグ型の外国人対象ウェルカム・パッケージを配布し、多言語で情報発信をしている
- ・多言語化ガイドラインをつくり、様々な媒体での情報提供を進めている
(パンフレット、**SNS**、窓口など)
- ・区職員向けのやさしい日本語マニュアルがある

6. 課題

- ・刊行物の存在やイベントの情報を知らない外国人住民が多い(区実施の実態調査より)

横浜市

1. 外国人住民数：99,229人、人口の2.6% (2022年1月1日時点)

国籍：①中国 ②韓国 ③ベトナム (2021年6月時点)

2. ホームページ：8言語対応、機械翻訳を活用

(英語、中国語(簡体、繁体)、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語に対応)

(外国人住民向けの生活情報サイトではやさしい日本語を含めた4言語に対応)

3. 多言語化ガイドライン：「横浜市多言語広報指針」(2010年、その後改訂、最新2022年、やさしい日本語の位置づけあり)

4. やさしい日本語ガイドライン：「『やさしい日本語』で伝える 分かりやすく伝わりやすい日本語を目 指して」(第4版、2017年)

横浜市の取り組み

5. 評価できる点

- ・細かい説明を加えるなど、外国人の視点に沿った多言語翻訳をしている
- ・独自の外国人住民向けの生活情報サイトを設置している
- ・外国人市民と外国人来訪者への対応を分けている

6. 課題

- ・多言語とやさしい日本語のどちらを中心に使用するのが定められていない
- 

静岡県

1. 外国人住民数：84,347人、人口の2.4% (2022年1月1日時点)

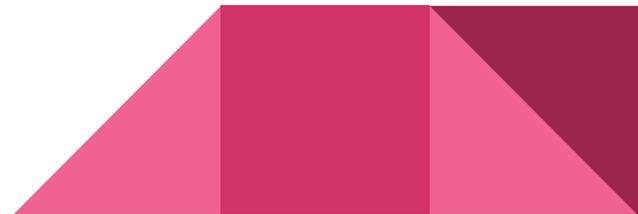
国籍：①ブラジル ②フィリピン ③中国

2. ホームページ：3言語に対応

(英語、中国語、韓国語)

3. 多言語ガイドライン：「外国人県民への情報提供に関するガイドライン」(2021年)

4. やさしい日本語のガイドライン：「『やさしい日本語』の手引き」(2017年、2021年改訂)



静岡県の取り組み

5. 評価できる点

- ・「静岡県多言語情報ポータルサイトかめりあ」（2021年）は6言語対応（ポルトガル語、フィリピン語、中国語、ベトナム語、英語、やさしい日本語）。外国人住民向けの情報を掲載している。外部サイトに移動してもその先が多言語されていたりと、わかりやすく見やすい。
- ・「外国人県民への情報提供に関するガイドライン」では、やさしい日本語及び外国語を活用する基準を定めている
- ・やさしい日本語のルビが大きく、ルビを外すこともできる

6. 課題

- ・サイトのメニューのうち、「役に立つ情報やイベント」の情報が少ない。イベント情報はゼロ
- ・リンク切れしているページが多い

海外都市のホームページ

1. ソウル市：韓国語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、日本語

その他の言語 (Google翻訳)

2. 台北市：中国語、英語

3. ニューヨーク市：108言語 (Google翻訳)

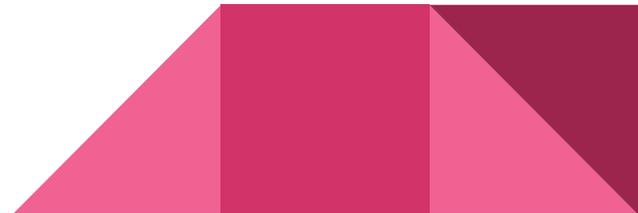
4. ベルリン市：ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語

5. パリ市：多言語対応なし



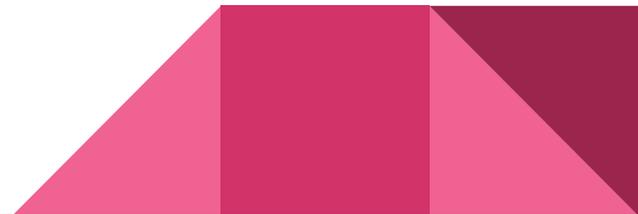
自治体にみられる共通点

- ・ おおむね外国人住民の母語に合わせた多言語表記を行っている
- ・ 機械翻訳を活用したホームページの多言語化ややさしい日本語での発信を進めている
- ・ 地名表記など、一部で翻訳に誤りがある
- ・ 機械翻訳では画像やPDFなどは翻訳できない

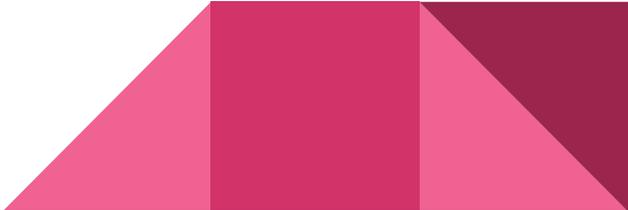


中野区への提案

- ・ ホームページの機械翻訳で、地名などに誤記がないか確かめる
また、画像やPDFが翻訳されない問題に対応する
- ・ やさしい日本語を活用した幅広い情報発信を進める
- ・ 多言語化ややさしい日本語のガイドラインの策定を検討する



まとめ

- ・ ホームページで機械翻訳を活用する自治体が増えている
 - ・ チャット機能や配布物など多様な方法で情報発信を進めている
 - ・ やさしい日本語の活用の程度は各自治体によって異なる
 - ・ ガイドラインを策定している自治体も増えているが、多言語化とやさしい日本語の活用を総合的に示したガイドラインは少ない
 - ・ ホームページの機械翻訳は正確とは限らない（特に画像やPDFの問題）
 - ・ ホームページ上の多言語情報の最初のアクセスに課題
- 

ご清聴ありがとうございました